別海町立別海中央中学校

『特色ある教育活動』

確かな学力を身につけるために

【数学・英語における習熟度別少人数指導、ＴＴ指導の実施】
全学年の数学、英語の授業で、習熟度別少人数指導やＴＴ（ティームティーチング）指導を実施しています。生徒一人一人の状況に応じたきめ細かい指導を徹底し、基礎学力の定着と活用力の向上を図っています。

【家庭学習担任制の実施】
教員一人が、１０人前後の生徒の家庭学習担任となり、毎日の取組状況や学習内容を確認。積極的な提出を呼びかけたり、学習内容のアドバイスをしたりして、質と量の両面から家庭学習を支援しています。

【生徒会主催の放課後学習の実施】
定期テスト前の部活動停止期間に、生徒会主催の放課後学習を開催。いつも会場の教室に入りきれないぐらいの生徒が詰めかけます。教員のサポートももちろんつきますが、生徒同士で教え合う姿があちこちで見られています。

幅広い人間性を培うために

【縦割り活動で生徒が企画運営する体育祭・学校祭】
１年生から３年生までを２つの団に分けて、縦割り活動で体育祭、学校祭を実施しています。３年生は、リーダーとして悩み、苦しみながら大きな達成感を手にします。下級生は上級生の姿に学びながら、将来の自分の姿を思い描き、集団の中で成長しています。

【社会との接点から生き抜く力を育むキャリア教育】
１学年では、様々な職種の方にインタビューをし、働くことについて学ぶ「職業講話学習」。２学年では、職場での実習を３日間体験する「職場体験学習」。３学年では、修学旅行の際に専門学校等を訪問し、近い将来の事について考える「上級学校訪問」を実施しています。

【地域ボランティアによる「読み聞かせ」】
月１回、朝読書の時間に、地域ボランティアの「ステップの会」のみなさんにお越しいただき、全学級で読み聞かせを行っています。季節やイベントに合わせて選ばれた絵本は、大人でも十分楽しめる内容で、生徒たちも集中して聞き入っています。

つながりと成長を確かなものにする異校種間交流

【小学校への乗り入れ授業の継続的な実施】

学習の連続性を確かなものとするために、数学科教員が小学４年生から６年生の授業に、英語科の教員は５・６年生の授業に、毎週Ｔ２として乗り入れしています。

【小中高合同研究会の実施】

別海中央小学校、別海高等学校と共に、毎年、合同研究会を開催。会場校が授業を公開し、子どもの様子や系統的な指導の在り方などについて意見を交流しています。

【スケート授業における小中交流学習】

小学１年生のスケート学習を、中学２年生がお手伝い。スケート靴の紐を結んでやり、おぼつかない滑りをサポートしながら、頼られる楽しさとそれに応えるよろこびを体験しています。

地域活動への貢献

【各種地域活動へのボランティア協力】

敬老会の催し、図書館で開催される古本市、児童館まつり、パイロットマラソンなど、地域の行事の運営や準備、後片付けなどに、多くの生徒がボランティアとして参加しています。

【各種行事、祭典への参加】

全町あげての大祭典「別海まつり」では、中学生が御神輿や手踊りなどに参加しています。吹奏楽部も祭のステージで演奏を披露。産業祭や交通安全パレードでもすばらしいメロディーを響かせています。

【パイロットマラソンへの参加】

町外からもたくさんの選手が集うパイロットマラソン。5km コースには、例年 100 名近くの本校生徒が参加しています。ボランティアで運営の手伝いにも関わっています。

家庭との連携を育むＰＴＡ活動

【バラエティにとんだ研修活動】

外部講師を招いた研修会を定期的に実施しています。海外の習慣に触れたり、命の大切さについて考えたり、スポーツケアについて実習したりと、盛りだくさんの内容となっています。

【環境整備作業】

年２回、保護者と教職員で環境整備作業を実施しています。近年は、花壇整備の他、自転車小屋のペンキ塗りや、大型廃棄物の撤去などにたくさんのご協力をいただいています。

【親睦スポーツ交流】

ミニバレー、ドッヂビーで汗を流し、保護者と教職員の親睦を深める交流会。クラス対抗とあって、練習期間から熱のこもったプレーが繰り広げられています。